



第 31 号  
2015.6 発行

創立五十一年目にあたって

理事長 児島 百代

昨年鎌倉合唱連盟創立五十周年を迎え、各合唱団の皆様にあつてのご協力をいただきましてありがとうございます。お蔭を持ちまして七月の記念演奏会では各団の演奏は無論のこと女声合唱、男声合唱、少年少女、混声合唱と四種類の合同演奏もそれぞれ立派な成果をあげて、和やかな交流の場ともなりました。

さて、その記念すべき五十周年を昨年皆様でお祝いすることが出来たわけですから、今年も新たな一年を踏み出す年となるのです。新しい一歩をどう踏み出すか、どのように進展させるかが私たちみんなに課せられた使命なのです。合唱を愛する皆様はきつといろいろなのご意見をお持ちの事と思いません。

『五十一年目からの鎌倉合唱連盟をどのように発展させるか』この課題を皆様といっしょに考えて

行きたいと思うのです。

どうぞ皆様の建設的なご意見を理事會にお寄せ下さい。そしてみんなで力を合わせてこの新しい一歩を踏み出しましょう。

コグニサイズ

副理事長 佐藤 ゆり

二月初めの毎日新聞にコグニサイズのことが大きく取り上げられていました。ご覧になった方も多いでしょう。コグニサイズとは国立長寿医療研究センターが開発した運動と認知課題（計算・しりとりなど）を組み合わせた認知症予防を目的とした取り組みの総称を表した造語です。脳に認知的な負荷がかかるような課題をしながら全身を使った中強度程度の運動をする。合唱は運動の程度は少し軽いかもしれませんが、正にコグニサイズでしょう。歌うことは正しく取り組みばかなり筋肉の負荷がかかります。多くの合唱団が一回二時間ぐらいの練習をしていらつしやると思いますが、この間立つ

て歌っていればそれだけでもかなりの運動です。高音低音を出す時には胸部を開きそれを維持できなくてはなりません。顎を緩やかに落とすためには背筋が必要で、歌は体が楽器。全身運動です。その上合唱は慣れでは歌えません。音程・リズム・歌詞が正しいことはもちろんのこと、常に指揮者を見、ほかのパートに耳を傾け、脳はフル稼働です。高齢社会と言われる昨今、アマチュア合唱団の担う役目は意外なところにもあるようです。

新たな飛躍の年に

副理事長 丸山 孝之

昨年は、合唱連盟創立五十周年を迎え、これを記念して第五十回定期演奏会及び鎌倉交響楽団のご協力を得た記念合同演奏会を成功裡に開催することが出来ました。これも加盟各団の皆様のご協力の賜物と感謝申し上げます。

五十周年を機に合唱連盟も新たな飛躍を遂げるべく努力してまいる所存でございます。其の為に克服すべき当面の問題として、若いメンバーの不足があります。

今後は若い人達に如何にして合唱界に目を向けさせるかを考える必要があります。合唱の楽しさ、



五十周年記念合同演奏会

ハーモニの美しさを若者に知ってもらい合唱に興味を持ってもらうよう、機会有ることに働きかける努力が必要と考えます。各団の人員構成が一時に比べ減少傾向にあることも心配です。健康で若さを保つ為にも、各団の皆様には何時までも合唱を続けて頂くと共に、新たな友人を誘って共に歌う楽しさを共有するようお願い致します。今年から次なる五十年に向かって活動を開始するに当たり、合唱連盟の更なる飛躍の年となるよう祈念致します。

## 鎌倉合唱連盟創立五十周年

### 記念合同演奏会

大船混声合唱団 山野 善生

私たち大船混声合唱団は、鎌倉合唱連盟創立五十周年記念演奏会の合同部門・混声合唱の部に参加し児島先生指揮のもとにハイドンのオラトリオ四季から二番春を待ち望んだ農民たちの合唱と三一番秋の豊作を葡萄酒で祝う農民たちの合唱を歌いました。参加者は西鎌倉混声コーラス、鎌倉コールの所属団員及び個人を含め、合計百名以上に達し、合同練習は鎌倉学習センター、西鎌倉小学校、腰越二番は農民達が待ち望んだ春をようやく迎えた静かな喜びを、又三一番は収穫を豊作で迎えて葡萄酒で祝おうと呼びかけ、躍動する喜びを合唱で表現するものです。

本番では鎌倉交響楽団による春の若々しく、又秋の重厚な季節感を漂わせた伴奏の下で、大編成の合唱団による厚みのある演奏が実現したのではないか、と思います。種々困難を伴うとは思いますが、小規模合唱団では実現できないスケールの大きい、重厚な大編成の音楽団体による演奏の意義は大きく今後も適宜区切りの時期ごとに

取り上げて頂きたいと思います。

## 鎌倉合唱連盟五十周年

### 記念演奏会を終えて

男声合唱団牧神(パン)代表 遠藤 恵紀

鎌倉合唱連盟五十周年記念演奏会の成功、おめでとうございます。

我が男声合唱団牧神(パン)は、その特別演奏の一環となった男声合唱の幹事団体としてのお役目を承り、この上なく光栄に思っています。創立後間もない未熟な男声合唱団であり、この大役を無事に果たせるかどうか、不安な気持ちでいっぱいでしたが、男声合唱団エルダー泉、大船混声合唱団、鎌倉市民混声合唱団、西鎌倉混声コーラス、混声合唱団ムジカおさらぎの各団より多数参加していただきおかげさまで総勢六十余名の男声合唱を演奏することが出来、好評をいただくことが出来ました。と深く感謝しています。しかしながら、まだまだもつと多くの男声合唱愛好者がおられ、参加を強く希望されていた方も多数おられたと伺っています。練習場所や時間経費などの都合もあって、皆様のご希望に添うことが出来ず、誠に申し訳なく残念に思っています。

これからも、我が男声合唱団牧神(パン)は鎌倉合唱連盟の中で、

男声合唱が益々盛んになり、発展していくことを切に祈りつつ出来る限りの努力と協力をしてまいります。今後とも、どうぞよろしくお願い申し上げます。

## 心はひとつ

作曲家・北鎌倉女声合唱団代表 太田 彌生

奇しくもこの五十周年記念演奏会に、私共北鎌倉女声合唱団と個人的に私と結縁が在り、有益なる時を過ごさせて頂き、心より感謝申し上げます。

北鎌倉女声は、女声合同合唱の中核となり、我が師でもある故三善晃先生の「唱歌の四季」を演目として、七回の練習を重ねました。日頃の練習では体験出来ぬ人生の機微を感じさせる深いハモリに、毎回酔い、指揮者無しの二台ピアノでコーラスをリードする形にて本番に臨み、多少のズレは当然覚悟の上でしたが、演奏者の願う気にて舞台上は、心はひとつになりました。

また私個人としましては、自作の連盟歌「心はひとつ」を、本来の音にすることが出来、高校の恩師のご助力によるパート譜作成、鎌倉市民交響楽団の温もりの響き、舞台上会場からの歌う喜びに溢れる全員合唱のハモリにより、お蔭

様にて莞爾と相成りました。

そしてこの日は、多くの「心はひとつ」状態を感じさせて頂きました。

生くる喜びは音楽と共に……。

## 五十周年記念演奏会に

### 参加して

ジュニア合唱団なぎさ道 金山 直子

五十を超える合唱団が名を連ねる鎌倉合唱連盟の中で、子ども達を主体とする合唱団は現在三団体。そのうちの二団体が男声合唱団の力を借りて、ヘンデル作曲の「メサイヤ」から三曲を歌いました。合唱団の合わせが一回、オーケストラとの合同練習が一回、そして当日。今から考えると冷や汗が出る様な日程ですが、この二つの合唱団だからこそ可能であったのだと思っています。

グロリア少年合唱団は、ご存じの様に「メサイヤ」の演奏会を毎年開催していますし、なぎさ道も十一回の定期演奏会で過去二回「メサイヤ」を演目として取り上げています。

合唱をなさっている方なら一度は歌ってみたいと思うこの曲を、小さな子ども達が顔をあげて高らかに歌う今回の演奏を、皆様はどの様に感じられましたでしょうか。



合唱が盛んな文化都市鎌倉で、歴史に残る大曲に触れ、身体に吸収して大きくなる子ども達。どうぞこれからも彼らが歌い続けることができる良い環境を応援していただきたいと思います。

## 新任理事の紹介

荒井 恵美

この春、鎌倉合唱連盟のお役の一端を担う事となり、身の引き締まる思いでおります。振り返ってみると私の合唱事始めは北鎌倉女子学園中学一年で歌った三善晃作曲『おでこのこいつ』でした。リズムと言葉の斬新さにワクワクドキドキの連続でした。以降学び舎で歌った沢山の合唱の中でも忘れ難い貴重な曲は、三善晃作曲『みつつの抒情』。児島先生指導の下、色彩の美しさや自然で上品なアゴーギクに引き込まれました。そしてもう一つが芸大時代にパワフルな混声合唱で歌ったサヴァリッシュ指揮『カルミナ・ブラーナ』。憧れのドイツ人歌手達との同じ舞台とあって無我夢中でした。現在、ソロ活動と並行して合唱に携わる毎日ですが、これまでの恵まれた育みが合唱魂となつて、混声・女

声の活気ある合唱団とのご縁や、県立高校合唱部での熱血指導、鎌倉学園で始めた男声合唱等に繋がっているのだと感謝しています。

節目の今、鎌倉であらゆる年代の方々が仲間と一緒に楽しく合唱する、そんな豊かさの貢献が微力ながらできたら幸甚です。どうぞ宜しくお願ひいたします。

児玉 昭義

この度、皆様のご推挙により、理事に任命させて頂きました児玉昭義です。所属は「ムジカおさらぎ」です。

私は小さい頃からの「音楽好き」で、また、入学した当地の国大附属小学校では、雨の日の朝は、雨天体操場で、一年生から六年生まで、全員で小学唱歌や童謡を歌うという教育を受けましたので、「音楽好き」が、更に、高揚したようでした。

成人してからの就職も、音響機器メーカーを選び、ステレオ装置の商品企画の道に進み、幾つかのヒット商品を皆様のご家庭にお届けすることが出来ました。そして、休日には、私自身も、その装置で音楽を楽しむ、という年月を過ごしました。

退職後、「そうだ、合唱をやる

う！」と決断し、「ムジカおさらぎ」に入団しました。入団早々に予てから大好きだったモーツァルト「レクイエム」を歌うことが出来ました。なんと幸せな体験だったでしょう。合唱を通じて、より多くの方々が「幸せ」な暮しが出来るよう、この連盟で頑張つて行きたいと思ひます。

西尾 保次郎

私はムジコマーニに所属この度合唱連盟の会計を仰せつかりました。合唱歴五年の新参者ですが皆様のお役に立てるよう頑張りますのでよろしくお願ひいたします。

今から百十五年前、祖母が静岡のカナダ系ミッションスクールを卒業する時、東京の音楽学校で声楽に入らないか薦められたと祖父が随想録に書いています。その時代から日本の西洋音楽教育が始まり、現在鎌倉では五十団体以上が合唱連盟に登録されています。

しかし、日本がその音楽を導入した元の西洋では、どうも学校で音楽を個人がするものとして、一般には教えないようです。現に娘が通っていたドイツの小学校にはピアノがありませんでした。それでは何故西洋が音楽の本場で数々のコンクールが催され、多くの学

校があり、優秀な音楽家を輩出するか、それは歴史と伝統では無いかと、私は考えています。

日本は西洋化が始まってから、たかだか百年、文化が根付くまで未だ時間がかかります。学校教育の継続、民間活動の拡充が必要です。そのためにも合唱連盟の活動が重要と考えております。

平野 ゆう子

この度鎌倉合唱連盟の理事となりました「女声合唱かまくらの風」代表の平野ゆう子です。

小学校のPTAコーラスとして出発した私達ですが、小学生のお母さんとは到底見えなくなり、「女声合唱かまくらの風」と名前を付けて、鎌倉合唱連盟のお仲間に加えて頂いたのはついこの間と思っておりますが、すでに十二年が経とうとしております。その間、代表者会でも毎回書類不備で呼び出され、副代表にも叱られていた私です。何が起るのか分りませんから、と理事はお断りして来ましたが、長い間、理事の皆様や事務局にご迷惑をおかけし続けて来ましてご恩返しをしなければと、今回お引き受けいたしました。書記と会計のお手伝いの部分をさせて頂きます。

一四五五名の合唱を愛する方々  
とのお交わりを楽しみながら、  
五十年の伝統ある鎌倉合唱連盟を  
傷つけないよう、できる限りのこ  
とをする所存です。どうぞよろし  
くお願い致します。

## 事務局

前田 麻美

一昨年五月から鎌倉合唱連盟創  
立五十周年記念演奏会の実行委  
員として、微力ながらお手伝いを  
させて頂くという貴重な機会に恵  
まれました。その有り難いご縁で、  
事務局のお仕事をさせて頂くこと  
になり、大変光栄に存じます。

晴れの舞台裏で、理事会のお一  
人おひとりのご尽力とチームワ  
ークにはいつも頭の下がる思いで、  
学ばせて頂くことばかりです。ま  
た同時に、理事会の皆様をはじめ  
連盟の皆様による合唱の美しい響  
きと共に、かけがえのない人と人  
の心温かなつながりにも感動を覚  
えております。

五十年という長い年月の間、皆  
様が紡いでこられた合唱への想い  
や情熱をひしひしと感じつつ、こ  
れからも多くを学ばせて頂きな  
がら、少しでも皆様のお役に立て  
ますよう日々精進してまいります。  
どうぞ宜しくお願い致します。

「こーるこすもす」

## 三十周年記念コンサート

阿部 栄子

「こーるこすもす」は昨年十二  
月十四日、鎌倉学習センターホー  
ルに於いて、三十周年記念コンサ  
ートを開催致しました。誕生した  
のは一九八四年、コスモスの花の  
咲く頃でした。あれから三十年と  
は夢のようです。

はじめの一、二年は音楽室で発  
表会を開いていましたがその後は  
センターホールで開催してきまし  
た。その最初のコンサートでは現  
在フランスを中心に活躍の浜田  
理恵さんがまだ大学院生の頃。ゲ  
スト出演して下さいました。ご一  
緒にホフマンの舟歌を歌ったのも  
懐かしい思い出です。一昨年の児  
島先生の「八十歳記念コンサー  
ト」では庄巻の歌声を聴かせて下  
さいました。「ご恩のある先生の  
お祝いの会ですからとんで帰りま  
した」と後日伺い、その師弟愛に  
感銘したものです。

ハイランドの地域のお料理教室  
に作曲がご専門の松本先生がいら  
したことから始まった「こーるこ  
すもす」ですが、今では団員の心  
のより所、健康のより所(?)と  
なっています。少しでも向上する

ことを目指して、これからも精進  
していきたいと思っております。

## 加盟各団の活動状況

平成二十七年六月から二十八年  
六月までの各合唱団の演奏会の予  
定或いは各種イベントへの参加予  
定をご紹介します。今後の各団の  
活動計画や、他団の演奏会鑑賞の  
為の資料としてご利用下さい。

\*鎌倉女声コール

平成二十七年六月九日

ひまわりの郷(上大岡)

第十六回交流会

\*ジュニア合唱団なぎさ道

平成二十七年八月二十二日

鎌倉芸術館小ホール

第十二回定期演奏会

平成二十七年七月十二日

鎌倉芸術館小ホール

ムービープラス

平成二十七年十二月二十六日

鎌倉芸術館大ホール

白い歌青い歌フェスティバル

\*円混声合唱団

平成二十七年九月二十六日

神奈川県立音楽堂

第五回定期演奏会

\*クール百音

平成二十七年十月四日

横浜みなとみらい小ホール

第十一回定期演奏会

\*女声合唱かまくらの風

平成二十七年十一月十二日

鎌倉芸術館大ホール

第九回定期演奏会

\*女声合唱団ぶどうの会

平成二十七年十二月十一日

返子文化プラザなぎさホール

第九回定期演奏会

\*グロリア少年合唱団

平成二十七年十二月二十三日

カトリック雪の下教会

\*由比コーラス

平成二十八年三月五日

返子文化プラザホール

第二十七回定期演奏会

## 編集後記

本年から編集を担当することにな  
りました。これは人生初のお仕事で  
すが先輩理事の皆さんのご助言をい  
ただきながら務めて参りたいと思っ  
ております。皆様もご意見などお寄  
せ下されば幸いです。どうぞよろし  
くお願い申し上げます。

阿部 栄子

えっせんす

第三十一号

二〇二五年六月 発行

発行責任者

鎌倉合唱連盟理事長

児島 百代

印刷所 F・フタバヤ